

米国のサイバーコミュニティにおけるデジタルコンテンツの 利用動向に関する調査研究

Survey on Digital Contents on Cyber Communities in United States

キーワード

サイバーコミュニティ, インターネット, デジタルコンテンツ

1. 調査の目的

米国では、リアルな地域コミュニティをベースとして、インターネット上にサイバーコミュニティが構築され、住民や地元企業がその主要メンバーとして活動している。サイバーコミュニティのサイト上では、地域情報を中心に、様々なコンテンツが提供され、電子的なコミュニケーションが展開されている。

本調査研究は、米国のサイバーコミュニティでデジタルコンテンツがどのように提供され、地域住民に活用されているのか、その実状を把握するために実態調査を行った。

2. 調査研究成果概要

調査の方法は、以下の通りである。

(1) 調査方法

サイバーコミュニティ運営者やデジタルコンテンツ提供者を対象として、インタビュー調査を実施した。

(2) 調査実施時期

2000年2月～3月

(3) 主要調査項目

サイバーコミュニティの運営の仕組み

サイバーコミュニティにおけるデジタルコンテンツ関連サービスの提供状況とサービス利用実態

調査結果のポイントは、以下の通りである。

(1) サイバーコミュニティ運営の仕組み

- ・マネジメント力のあるリーダーが核となって、コミュニティを運営している。
- ・大学予算、政府等の補助金、企業とのパートナーシップにより、コミュニティ内の情報通信基盤の整備、サーバ等の運用資金を確保している。
- ・資金を有効活用して、住民、地元企業のインターネットへのアクセス基盤を整備し、安価な料金で提供している。
- ・より多くの住民や地元企業、自治体関係者がインターネットを活用できるようにするために、インターネットの利用方法、ホームページの作成方法等の教育訓練を行っている。

(2) サイバーコミュニティ上でのデジタルコンテンツの利用動向

- ・様々な地域情報を中心に、サイバーコミュニティサイト上のコンテンツ（リンクも含む）を充実させている。
- ・地元在住のアーティストの作品をサイト上で公開したり、図書館の所蔵品（著作権切れ）のものを全文、テキストファイルでダウンロードできるようにする等、各種デジタルコンテンツをコミュニティのサイトにアップしている。
- ・地域の産業活性化を目指して地元企業の写真入りのサイトを開設し、コミュニティのサイトからリンクを張ることにより、アクセス数の向上を図っている。